

(トップページ:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(五大石油会社の業績比較:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/ExxonShellBp.html>)

(石油:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/oil.html>)

マイライブラリー:0298

(注)本稿は2014年2月5日から23日まで11回にわたり「内外の石油情報を読み解く」に掲載したレポートをまとめたものです。

2014.2.27
前田 高行

五大国際石油企業2013年度業績速報シリーズ

<u>目次</u>	<u>頁</u>
I. 各社の業績概要:2013年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)	2
1 ExxonMobil	2
2 Chevron	2
3. Shell	3
4. BP	3
5. Total	4
II. 2013年の業績比較	5
1. 売上高	5
2. 利益	5
3. 売上高利益率	6
4. 設備投資額	6
5. 石油及び天然ガス生産量	7
(1) 石油生産量	7
(2) 天然ガス生産量	7
(3) 石油・天然ガス合計生産量(石油換算)	7
III. 6カ年(2008-2013年)業績推移の比較	7
1. 売上高	8
2. 利益	8
3. 売上高利益率	9
4. 設備投資額	9
5. 石油及び天然ガス生産量	10
(1) 石油生産量	10
(2) 天然ガス生産量	10
(3) 石油・天然ガス合計生産量(石油換算)	11

ExxonMobil など国際石油会社(International Oil Companies, IOCs)の昨年第4四半期(10-12 月)及び年間(1-12 月)の決算が発表された。本稿では ExxonMobil の他、Shell, BP(英), Total(仏)及び Chevron(米)の主要 5 社を取り上げ、各社の売上高、利益、石油・ガス生産量、投資額等を概観し、さらに 5 社の業績比較を行う。

I. 各社の業績概要:2013 年第 4 四半期(10-12 月)及び通年(1-12 月)

1. ExxonMobil

* ホームページ:

<http://news.exxonmobil.com/press-release/exxon-mobil-corporation-announces-estimated-fourth-quarter-2013-results>

(1)売上高

ExxonMobil の 2013 年 10-12 月の売上高は 1,109 億ドルであり、また通年売上高は 4,383 億ドルであった。前年同期比ではそれぞれ-3.3%, -8.8%の減収であった。

(2)利益

10-12 月期及び通年の利益はそれぞれ 83.5 億ドル及び 325.8 億ドルであり、前年同期と比較すると 10-12 月期は-16.1%、通年では-27.4%といずれも減益となっている。通年利益のうち上流部門の利益は 268.4 億ドルであり全利益の 82%を占めている。上流部門の利益が大きな割合を占めているのは ExxonMobil 以外の他社も同様である(追って詳述)。

(3)石油・ガス生産量

昨年の「ExxonMobil の石油生産量は日量平均 2,202 千バレル(以下 B/D)であり、前年(2012 年)比 0.8%増であった。天然ガスは日量平均 11,836 百万立法フィート(以下 mmcf)であり、これは前年比-3.9%である。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 4,175 千 B/D となり、2012 年比では-1.5%である。

(4)設備・探鉱投資

2013 年の年間の設備・探鉱投資額は 425 億ドルであり、これは 2012 年比で 6.8%の増加であった。

2. Chevron

* ホームページ:

http://www.chevron.com/chevron/pressreleases/article/01312014_chevronreportsfourthquarternetincomeof49billionand2013earningsof214billion.news

(1)売上高

Chevron の 2013 年 10-12 月の売上高は 562 億ドルであり、また通年売上高は 2,288 億ドルであった。前年同期比ではそれぞれ-7.3%, -5.4%の減収である。

(2)利益

10-12 月期及び通年の利益はそれぞれ 49 億ドル及び 214 億ドルであり、前年同期と比較すると 10-12 月期は-32.0%、通年では-18.2%といずれも減益となっている。通年利益のうち上流部門の利益は 208 億ドルであり全利益の 97%を占めている。

(3)石油・ガス生産量

昨年の Chevron の石油生産量は日量平均 1,731 千 B/D であり、前年(2012 年)比 1.9%減であった。天然ガスは日量平均 5,192mmcf/d であり、これは前年比+2.3%である。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 2,597 千 B/D となり、2012 年比では-0.5%である。

(4)設備・探鉱投資

2013 年の年間の設備・探鉱投資額は 419 億ドルであり、これは 2012 年比で 22.3%の増加であった。

3. Shell

* ホームページ:

<http://www.shell.com/global/aboutshell/media/news-and-media-releases/2014/fourth-quarter-2013-results-announcement.html>

(1)売上高

Shell の 2013 年 10-12 月の売上高は 1,115 億ドルであり、また通年売上高は 4,596 億ドルであった。前年同期比ではそれぞれ-9.1%、-4.6%の減収である。

(2)利益

10-12 月期及び通年の利益はそれぞれ 18 億ドル及び 164 億ドルであり、前年同期と比較すると 10-12 月期は-73.5%、通年では-38.7%といずれも大幅な減益となっている。通年利益のうち上流部門の利益は 151 億ドルであり全利益の 92%を占めている。

(3)石油・ガス生産量

昨年の Shell の石油生産量は日量平均 1,541 千 B/D であり、前年(2012 年)比 5.6%減であった。天然ガスは日量平均 9,616mmcf/d であり、これは前年比+1.8%である。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 3,199 千 B/D となり、2012 年比では-1.9%である。

(4)設備・探鉱投資

2013 年の年間の設備・探鉱投資額は 460 億ドルであり、これは 2012 年比で 25.2%の増加であった。

4. BP

* ホームページ:

<http://www.bp.com/en/global/corporate/press/press-releases/fourth-quarter-2013-results--stock-exchange-announcement.html>

(1)売上高

BP の 2013 年 10-12 月の売上高は 937 億ドルであり、また通年売上高は 3,791 億ドルであった。前年同期比では 10-12 月期は-0.2%の減収、通年ベースでは+0.9%の増収である。

(2)利益

10-12 月期は 11 億ドル、通年では 238 億ドルの利益であり、前年同期と比較すると 10-12 月期は -29.2%の赤字、通年では 111.2%の黒字となっている。通年利益のうち上流部門の利益は 167 億ドルであり利益全体の 70%を占めている。

(3)石油・ガス生産量

昨年の BP の石油生産量は日量平均 1,176 千 B/D であり、前年(2012 年)比 0.3%減であった。天然ガスは日量平均 6,259mmcf/d であり、これは前年比-5.3%である。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 2,256 千 B/D となり、2012 年比では-2.7%である。

(4)設備・探鉱投資

2013 年の年間の設備・探鉱投資額は 366 億ドルであり、これは 2012 年比で 45.3%の増加であった。

5. Total

* ホームページ:

<http://total.com/en/media/news/press-releases/20140212-Fourth-quarter-and-full-year-2013-results20140212-Fourth-quarter-and-full-year-2013-results>

(1)売上高

Total の 2013 年 10-12 月の売上高は 650 億ドルであり、また通年売上高は 2,517 億ドルであった。前年同期比では 10-12 月期は 0.5%の増収、通年ベースでは-2.1%の減収である。

(2)利益

10-12 月期は 22 億ドル、通年では 112 億ドルの利益であり、前年同期と比較すると 10-12 月期は -28.1%の減益、通年でも-17.8%の減益である。通年利益のうち上流部門の利益は 124 億ドルである。

(3)石油・ガス生産量

昨年の Total の石油生産量は日量平均 1,167 千 B/D であり、前年(2012 年)比 4.3%減であった。天然ガスは日量平均 6,184mmcf/d であり、これは前年比 5.2%増である。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 2,299 千 B/D となり、2012 年比横這いである。

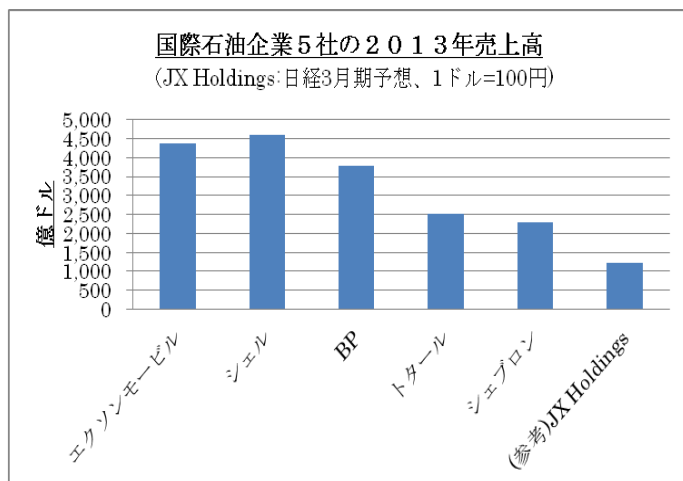
(4)設備・探鉱投資

2013 年の年間の設備・探鉱投資額は 259 億ドルであり、これは 2012 年比で 18%の増加であった。

II. 2013年の業績比較

1. 売上高

ここでは ExxonMobil, Shell, BP, Total 及び Chevron5社の2013年の売上高を比較する。参考までに日本最大のエネルギー企業 JX ホールディングスとの比較も行った(JX ホールディングスの今3月期の予想数値は 1/21 付け日本経済新聞による)。

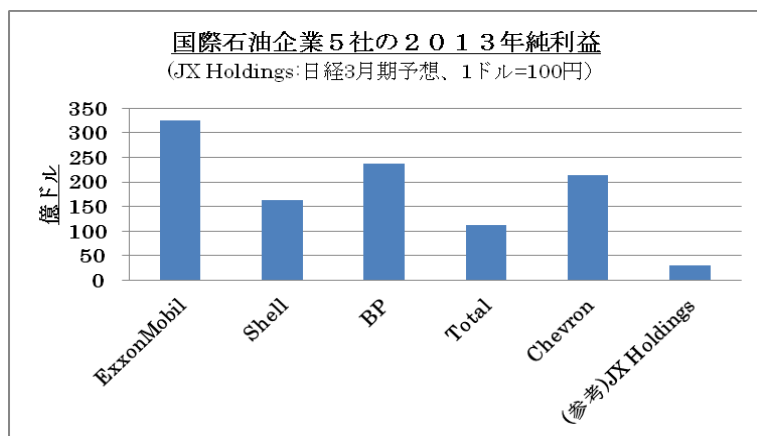


5社の中で売上高が最も大きいのは Shell の4,596億ドルであり、これにつづくのが ExxonMobil の4,383億ドルである。なお後述する6カ年(2008-2013年)業績推移で詳しく触れるが、昨年までの売上高は ExxonMobil が常にトップであったが、今回初めて Shell がトップに立った。但し Shell は利益面では5社中4位でかなり見劣りしている(次項参照)。

Shell、ExxonMobil に次いで売上高が大きいのは BP の3,791億ドルであるが、これはシェルの約8割である。Total、Chevron の売上高はそれぞれ2,517億ドル及び2,288億ドルで、トップの Shell の売上高のほぼ半分である。

JX ホールディングスの3月期売り上げ予想額は12兆2千億円(1ドル=100円換算で1,220億ドル)とされ、Shell の27%であり、BP の3分の1、Total 或いは Shell の2分の1である。同社の場合、エネルギー(いわゆる下流部門)、石油・天然ガス開発(いわゆる上流部門)に加え金属事業部門を含むため5社と厳密には比較できないが、昨年度の同社決算資料によれば全売上高に占めるエネルギー及び石油・天然ガス開発部門の比率は86%である¹。従って JX ホールディングスの売り上げ規模は Shell の24%程度と試算される。

2. 利益



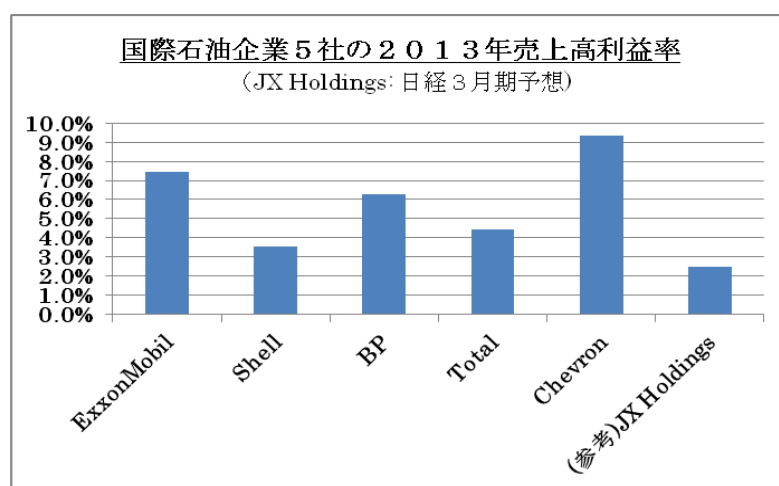
ExxonMobil が売上同様、利益額も5社の中で最も大きく326億ドルである。ExxonMobil に次いで BP(238億ドル)及び Chevron(214億ドル)が並んでおり、両社の利益は ExxonMobil の7割前後である。これに対して Shell の利益は164億ドルで ExxonMobil の1/2、BP の7割弱にとどまっている。5社の中で利益が最も少ないのは Total で同

社の利益額は112億ドル、ExxonMobil の3分の1である。

Shell は売上では5社中の2番目であるが、利益は4番目である。これに対して Chevron は売上高が5社の中で最も少なく、Shell の2分の1にすぎないにもかかわらず利益では ExxonMobil に次いで2番目に多い。Shell はこの状況を相当深刻にとらえているようであり、今年1月に CEO が交代して以来ブラジル深海油田、北海油田などの権益を次々と売却している²。

参考までに JX ホールディングスの3月期予想経常利益は3,000億円(1ドル=100円換算で30億ドル)である。これは ExxonMobil の10分の1、Shell の5分の1であり、国際石油企業と比べて大きく見劣りする。上流部門(開発生産)で利益の大半を稼ぎ出している国際石油企業に対して、JX ホールディングスは上流部門が弱いためである。

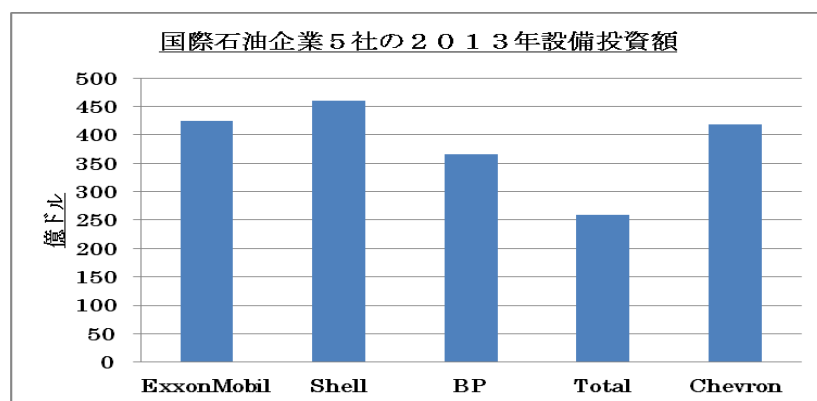
3. 売上高利益率



売上高(上記1)と利益(上記2)の比率である売上高利益率を見ると、Chevron が9.4%と最も高く、次いで ExxonMobil(7.4%)、BP(6.3%)が利益率5%を超えている。Total は4.5%であり、Shell は最も低い3.6%にとどまっている。因みに JX ホールディングスの売上高利益率(予想)は2.5%であり、国際石油企業5社の中で最も低い Shell よりもさ

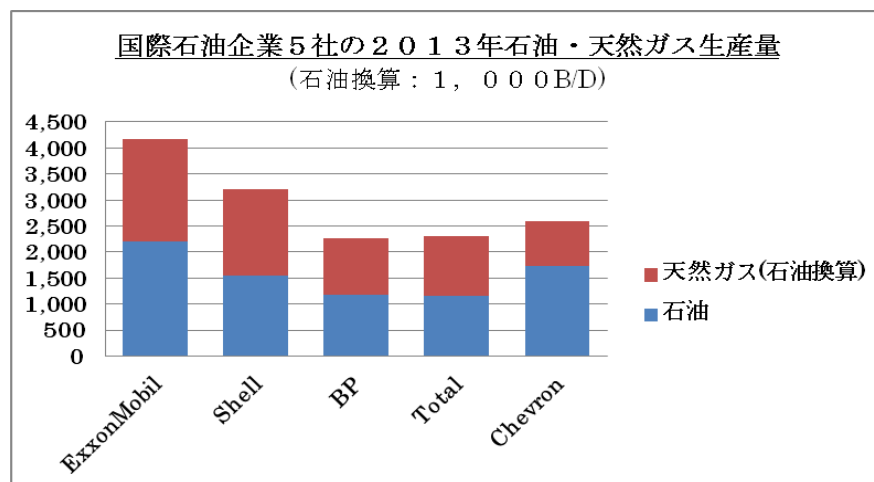
らに低い水準にとどまっている。日本の製造業としては利益率2.5%は決して低すぎる数値ではないが、高い利益率を誇る国際石油企業との格差は非常に大きいようである。

4. 設備投資額



2013年の設備投資額が最も大きいのは Shell(460億ドル)である。Shell に次いで ExxonMobil(425億ドル)及び Chevron(419億ドル)がほぼ並んでおり Shell よりも1割程度少ない。BP の設備投資額は366億ドルであり、5社中で最も少ない Total の設備投資額(259億ドル)はトップの Shell の6割弱にとどまっている。

5. 石油及び天然ガス生産量



(1) 石油生産量

昨年の5社の石油生産量を日量(B/D)で比べると、最も多かったのは ExxonMobil の2,202千 B/Dであり、5社の中で同社だけが2百万 B/Dを超えている。ExxonMobilに次いで生産量が多いのは Chevron(1,731千 B/D)、第3位は Shell(1,541千 B/D)である。両社と ExxonMobil を比べると Chevron は ExxonMobil の8割弱、Shell は7割弱である。BP 及び Total はほぼ同量で、それぞれ1,176千 B/D、1,167千 B/D の石油を生産しており、これは ExxonMobil のほぼ半分である。

(2) 天然ガス生産量

天然ガスの生産量が最も多いのは ExxonMobil(11,836百万立方フィート、以下 mmcf/d)であった。2位以下は Shell(9,616mmcf/d)、BP(6,259mmcf/d)、Total(6,184mmcf/d)、Chevron(5,192 mmcf/d)と続き、Chevron は5社中で最も少なく、ExxonMobil の4割強にとどまっている。

(3) 石油・天然ガス合計生産量(石油換算)

石油と天然ガスの合計生産量が最も多いのは ExxonMobil であり石油換算で4,175千 B/D である。ExxonMobil に次いで合計生産量が二番目に多いのは Shell(3,199千 B/D)であり、以下 Chevron(2,597千 B/D)、Total(2,299千 B/D)と続き BP(2,256千 B/D)が最も少ない。ExxonMobil の生産量を100とした場合、他の4社は Shell77、Chevron62、Total55、BP54であり Total 及び BP は ExxonMobil のほぼ半分である。

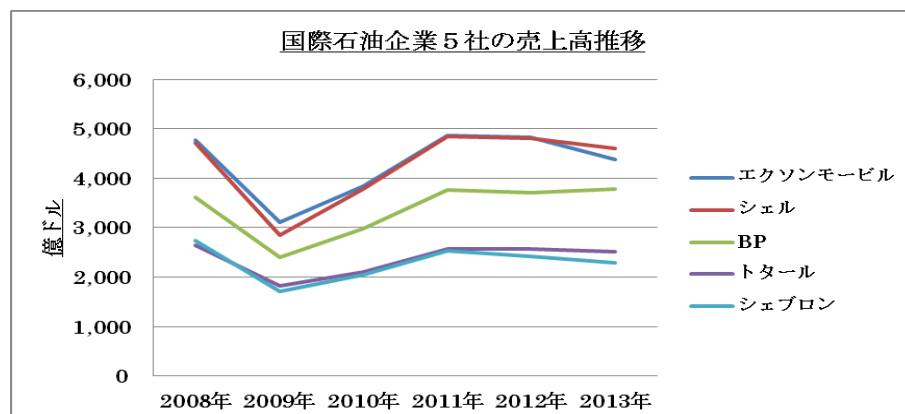
各社の石油と天然ガスの比率を見ると、Chevron は石油67%、天然ガス33%であり5社の中では石油の比率が最も高い。その他4社の石油：天然ガスの比率はそれぞれ、ExxonMobil(石油53%：天然ガス47%)、BP(石油52%：天然ガス48%)、Total(石油51%：天然ガス49%)、Shell(石油48%：天然ガス52%)であり、ExxonMobilなど4社は石油生産量が天然ガス生産量を上回っているのに対して、Shell のみは石油よりも天然ガスの生産量の方が多い。

III. 6力年(2008-2013年)業績推移の比較

ここでは2008年から2013年までの過去6年間の5社の業績の推移を比較検討する。因みに2008年は年央に Brent 原油の価格が史上最高の147ドル(バレル当たり)を記録、また年間平均価

格も97ドルに達して石油5社が過去最高の業績を示した年である。

1. 売上高



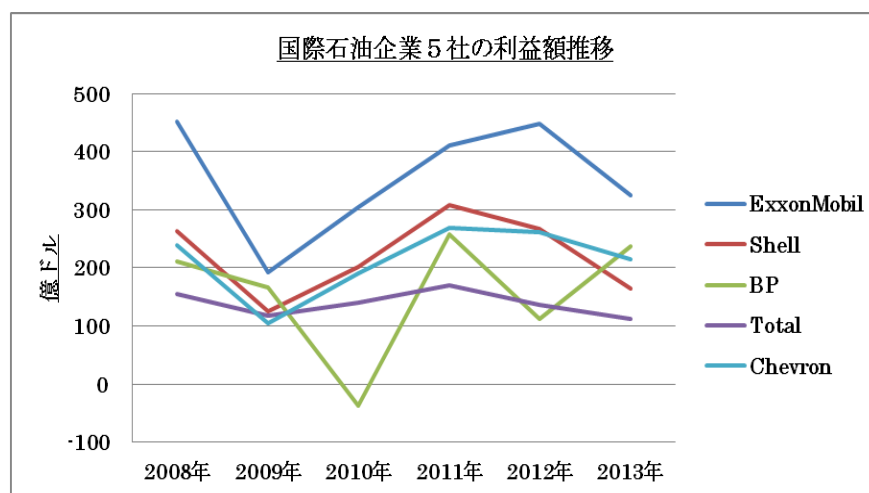
2008年の売上高トップは ExxonMobil の4,774 億ドルであり Shell が僅差の4,709 億ドルの第2位であった。そして売上高第3位は BP(3,611 億ドル)で、Chevron と Total は2,730 億ドル

及び2,647 億ドルであった。5社の順位は過去6年間殆ど変わらず、ただ2012年までトップを占めていた ExxonMobil が、2013年に初めて Shell に1位を奪われている。Chevron と Total の場合は2009年以降 Total が Chevron を上回っており過去2年間では両社の差が開きつつある。

年ごとに見ると2009年は各社とも前年比で大きく落ち込んでいる。これは2008年に原油価格が史上最高値となったが、同年9月にリーマン・ショックが発生、世界景気が一気に冷え込んだためである。2009年の原油平均価格は前年比で4割近く下落、販売量も落ち込んだため各社の売上高は ExxonMobil 35%減、Shell 39%減、BP 34%減など軒並み大幅な減収となった。

2010年以降は原油価格が持ち直し各社とも売り上げは回復、2011年には年間平均価格が100ドル(Brent)を超えたため ExxonMobil、Shell、BP の3社は2008年をしのぐ売上高となり、Total、Chevron もほぼ元に戻っている。2012年から2013年にかけてはBP、Total は横ばいで、その他3社はやや落ち込んでいる。

2. 利益



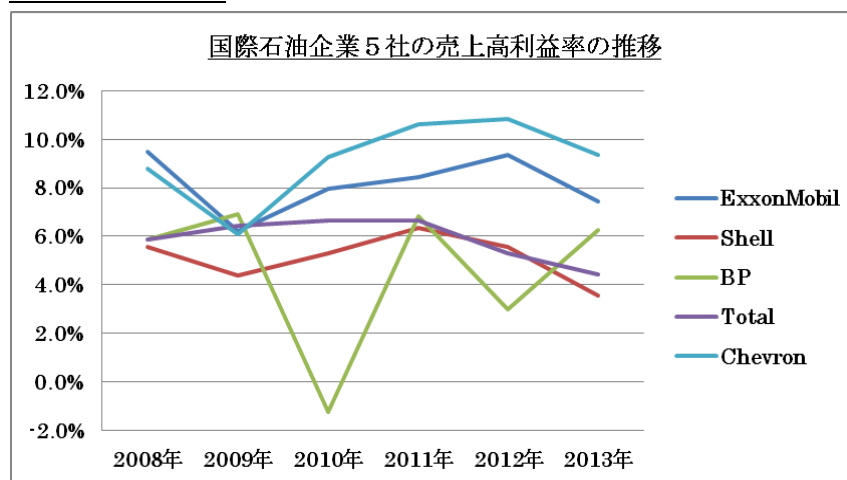
2008年から2013年までの5社の利益の推移を見ると、まず2008年は ExxonMobil が452 億ドルの利益を計上、Shell(263 億ドル)、Chevron(239 億ドル)、BP(212 億ドル)、Total(156 億ドル)にくらべ Total の3倍、BP の2倍等、4社を寄せ付けない圧倒的な収益力を誇

った。

しかし翌年の2009年にはリーマン・ショックと油価の急落により ExxonMobil が前年比で半減するなど各社とも利益が100億ドル台に急減、5社間の利益格差は一気に縮まった。2010年から2011年にかけては原油価格が上昇、各社とも上流部門の収益力が回復している。但し BP のみはメキシコ湾の事故により37億ドルの期間損失を計上している。

2011年以降は利益の増減は各社まちまちであり Shell、Total、Chevron は2011年をピークにその後2年間利益は減少、ExxonMobil は2012年から2013年にかけて減益となっている。BP は毎年増減を繰り返しているが2013年は ExxonMobil に次ぐ利益を計上している。

3. 売上高利益率

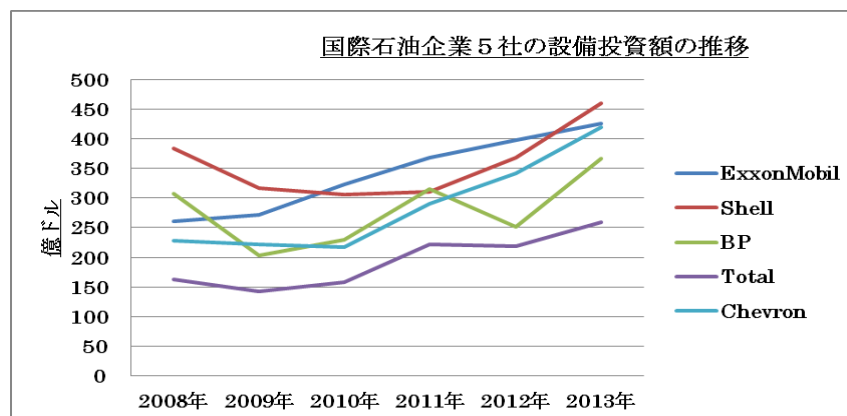


過去6年間を通じて売上高利益率が高いのは ExxonMobil と Chevron である。ExxonMobil は9.5%(08年)→6.2%(09年)→7.9%(10年)→8.4%(11年)→9.3%(12年)→7.4%(13年)と 2009年には落ち込んだものの8~9%前後をコンスタントに維持しており、また Chevron も8.8%(08年)→6.1%(09年)→9.3%(10年)→10.6%(11年)→10.8%(12年)→9.4%(13年)と時には10%を越えて ExxonMobil を上回る利益率を示している。

Shell、BP、Total の利益率は2008年は6%弱でほぼ並んでいた。BP は2009年には6社中で最も高い利益率(6.9%)を示したが、その後は-1.3%(10年)→6.8%(11年)→3.0%(12年)→6.3%(13年)と不安定な状態である。Shell 及び Total は2011年以降利益率の低下に悩まされており、特に Shell の2013年の利益率は3.6%と5社の中で最も低い。

Shell、BP、Total の利益率は2008年は6%弱でほぼ並んでいた。BP は2009年には6社中で最も高い利益率(6.9%)を示したが、その後は-1.3%(10年)→6.8%(11年)→3.0%(12年)→6.3%(13年)と不安定な状態である。Shell 及び Total は2011年以降利益率の低下に悩まされており、特に Shell の2013年の利益率は3.6%と5社の中で最も低い。

4. 設備投資

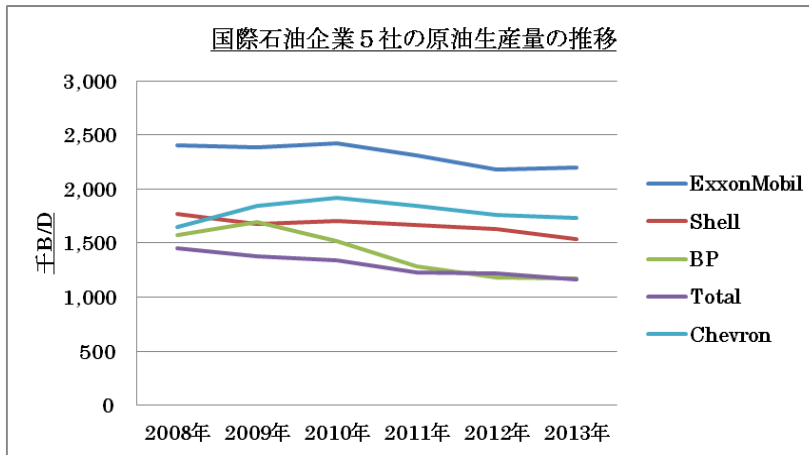


2008年の設備投資額は Shell が384億ドルで最も多く、BP(307億ドル)、ExxonMobil(261億ドル)、Chevron(228億ドル)と続き Total は163億ドルで最も少なかった。Shell と BP の2社は2009年に投資額が大幅に減少しているが、

6年間を通じて見た場合6社の投資額は増加傾向にある。2008年と2013年の投資額を比較した場合、各社いずれも増加しており、特に Chevron は1. 8倍、ExxonMobil、Total は1. 6倍など大きく膨れ上がり、Shell 及び BP も1. 2倍増である。ただし次項(石油・ガス生産量の推移)に見るごとく、BP のように生産量の減少に歯止めがかからないケースが見られるなど、投資額と生産量とは必ずしも相関関係にあるとは言えない。

5. 石油及び天然ガス生産量

(1)石油生産量



5社の2008年から2013年までの石油生産量の推移を見ると、6年間を通じてExxonMobil は他の4社を大きく引き離している。同社の生産量の推移を見ると、2,405千B/D(08年)→2,422千B/D(09年)→2,312千B/D(10年)→2,185千

B/D(12年)→2,202千B/D(13年)と常に2百万B/D以上を維持しており、他の4社はいずれも百万B/D台である。

ExxonMobil 以外の2008年の生産量はShell1,771千B/D、Chevron1,649千B/D、BP1,575千B/D、Total1,456千B/Dで4社間に大きな差は無かったが、その後Chevronが生産量を増やす一方BPは2009年以降急激に減少、Shell、Totalも毎年漸減し、2013年の4社の生産量はChevron1,731千B/D、Shell1,541千B/Dに対しBP及びTotalはそれぞれ1,176千B/D、1,167千B/Dに落ち込んでいる。

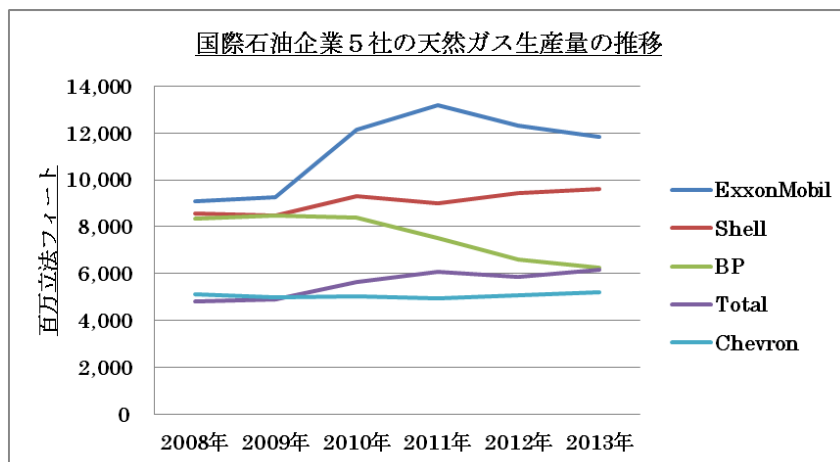
なお2008年の生産量を100とした場合、2013年の各社生産量はExxonMobil92、Chevron105、Shell87、BP75、Total80である。5社の中で2008年の生産水準を上回っているのはChevron1社のみであり、他の4社は生産量の低減に歯止めがかからないようである。

(2)天然ガス生産量

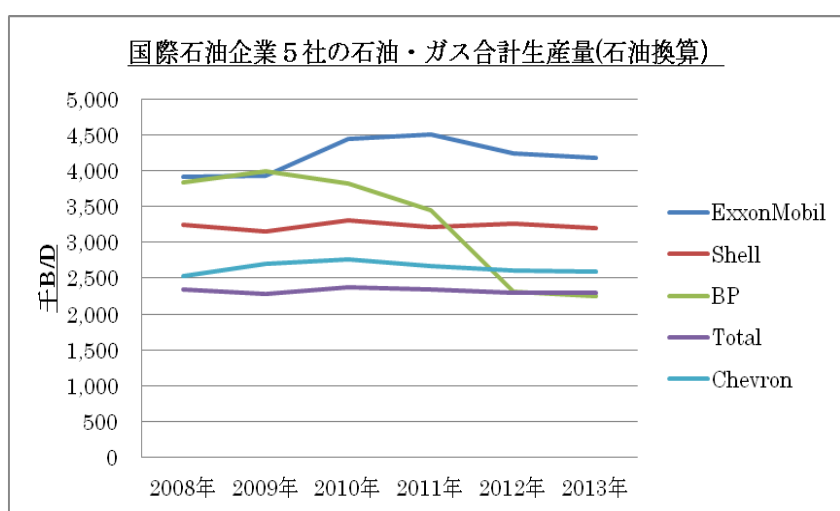
2008年から2013年までの天然ガスの生産量は各社で明暗が分かれている。2008年の生産量はExxonMobil、Shell及びBPが80~90億立法フィート/日(以下cfd)であり、TotalとChevronは50億cfd前後であった。その後ExxonMobilの生産量は急激に増加、またShell及びTotalも漸増傾向を示したのに対し、BPは大幅に減少、Chevronは横ばいにとどまっている。

その結果、2013年の各社の生産量はExxonMobil118億cfd、Shell96億cfd、BP63億cfd、Total62億cfd、Chevron52億cfdとなり、トップのExxonMobilとChevronの格差は2倍以上に開い

ている。



(3) 石油・天然ガス合計生産量(石油換算)



石油と天然ガスの合計生産量(石油換算)を見ると、2008年には ExxonMobil(3,921千 B/D)と BP(3,833千 B/D)が並び、これに Shell が3,248千 B/D で続き、Chevron (2,530千 B/D)と Total (2,341千 B/D)は2百万 B/D 台であった。

2013年までの6年間で BP は2百万 B/D 前半まで急減、その他4社はほぼ横ばい状態である。上記(1)石油生産量及び(2)天然ガス生産量の推移からもわかるとおり、BP は石油、天然ガスともに激減しており、Chevron は石油、天然ガスの双方が増加している。また ExxonMobil、Shell、Total の3社は石油の落ち込みを天然ガスの増加でカバーして横ばいを維持している状況である。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601

Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642

E-mail; maedat@r6.dion.ne.jp

¹ JX ホールディングス平成25年3月期決算短信 P32 より。

http://www.hd.jx-group.co.jp/ir/library/statement/2012/pdf/jx_jp_ts_fy2012.pdf

² Shell プレスリリース参照。

<http://www.shell.com/global/aboutshell/media/news-and-media-releases/2014/2014-results-an>

[nouncement-media-release1.html](#)

<http://www.shell.com/global/aboutshell/media/news-and-media-releases/2014/shell-to-sell-interest-in-offshore-brazil-bc-10.html>

<http://www.shell.com/global/aboutshell/media/news-and-media-releases/2014/shell-boosts-leadership-global-lng-completion-repsol-deal.html>